

砺波平野の縄文時代中期のムラ

松原遺跡



縄文時代中期前～中葉 深鉢

2013年2月

富山県埋蔵文化財センター

 富山県

目次

砺波平野の縄文時代中期のムラ 松原遺跡……………	1
主な出土遺物……………	1
縄文時代中期の土器……………	1
いろいろな形の土器……………	1
いろいろな特徴の土器……………	2
土器写真……………	3

※ 土器写真の縮尺は統一してありません。



縄文時代中期中葉 深鉢



縄文時代中期中葉 土器

砺波平野の縄文時代中期のムラ まつばらいせき 松原遺跡

松原遺跡は、砺波市（旧庄川町）庄川町しめの示野の標高 100~105m の庄川左岸の扇頂部の河岸段丘上に位置します。遺跡の発見は、大正 2 年（1913）の砺波鉄道（後の加越鉄道、1972 年廃線）敷設の際に盛土が運び出され、多くの遺物が出土したことによります。その後も何度かの開発に伴い、遺物が見つかることから、県内では注目されていました。遺跡は、最近まで「ほんほん野」、「示野」、「金屋」などと呼ばれていましたが、昭和 48 年の発掘調査以降は、松原遺跡となっています。これまで 5 回の調査が行われており、縄文時代中期前葉から後葉（約 4,500~4,000 年前）、が複合する集落遺跡と確認されました。調査区全体では、たてあなしゅうきょ 竪穴住居 20 棟、どこう 土坑 100 か所以上と立石、りっせき 埋甕が確認されています。

主な出土遺物 遺物には、中期前葉から後葉にかけての大量の土器（深鉢・浅鉢・台付鉢・小形土器・有孔鐳付土器・器台）や土製品（土偶・滑車形耳飾・腕輪・円板形土器片加工品）、石器（磨製石斧・打製石斧・石鏃・石匙・磨石・敲石・凹石・石皿・石錘・砥石・石棒・玉類・玉未成品）があります。

縄文時代中期の土器 土器には、中期前葉の新崎式、中葉の天神山式、古府式、後葉の古串田新式に属するものがあります。新崎式に属する遺構ははっきりしませんが、01・02・04 号住居が天神山式、それ以外の遺構は、古府式から古串田新式と考えられます。

いろいろな形の土器 土器には、深鉢（煮炊きに使う）、浅鉢（盛り付けに使う）、有孔鐳付土器（お酒つくりの容器や皮を張って太鼓とした説がある）があります。深鉢は、波状口縁や平口縁があり、口縁端部が「く」の字状に折



第 1 図 遺跡位置と調査区

れるものとそのまま直線的に開くものがあります。文様は渦巻状の半隆帯を中心に半截竹管文を器面全体に施すダイナミックなものです。また、口縁部や文様の区切り部分にはいろいろな形の突起が付けられています。渦巻き文様には動物（蛇などの爬虫類）を模した文様がつけられる例があります。

浅鉢は大きく皿状に開き、「く」の字に口縁部が折れるものと大きな碗状となる形があります。文様はシンプルで口縁部に沈線による格子状文や円や半円状の貼り付け隆帯による文様が施されます。また、大型品が多く作られ、口縁部に玉抱き三叉文が付けられることが特徴です。また、鉢や深鉢（1・2・4・107・108・109・143）では台が付く例が他地域に比べ多く見られます。

有孔鐳付土器 63~67 は胴が張った球状の形で、穴が空けられた口縁と鐳状の隆帯が付きま^{つば}す。文様は、動物を模した渦巻き文や大きな突起など他の土器とはやや異なったものがあります。また、赤彩されるものも多くあります。煮炊きに使われることはほとんどなく、特別な容器と考えられています。

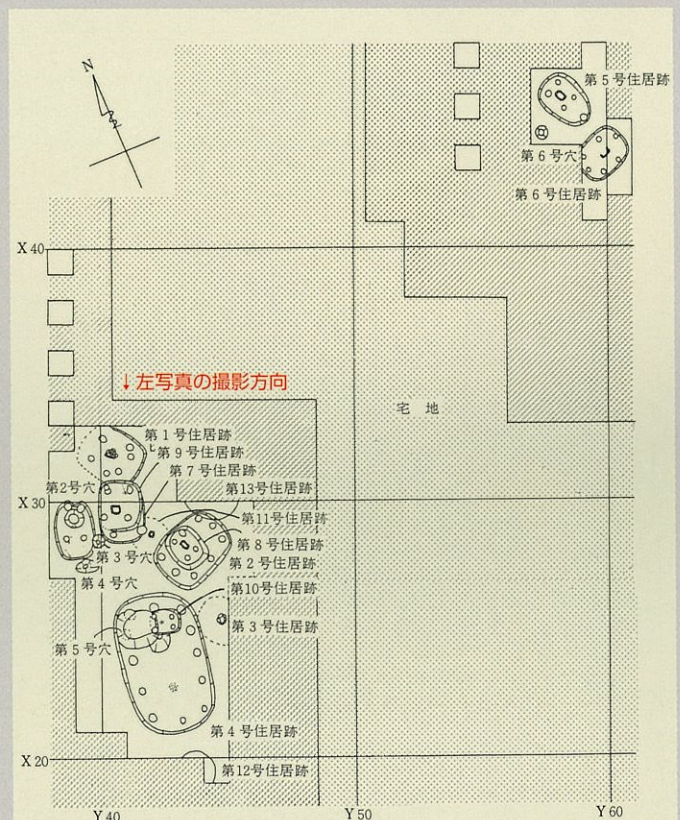
いろいろな特徴の土器 松原遺跡の土器をみるといくつかの特徴を兼ね備えている例があります。119・23・146 は、キャタピラのような文様と弧状の隆帯を胴部上半に施す、新道式の特徴を持つ例です。43・57 は、弧状隆帯の間に蓮弁文を充填した例です。28・30・40 は、連続する渦巻き隆帯に蓮弁文を充填しています。しかし、典型的な天神山式土器 27・26・24 も見られます。前者は、新崎式の蓮弁文と新道式の隆帯、天神山式の渦巻文が融合した例でしょうか。また、中葉後半では東北の大木式土器や加曾利 E 式土器の影響を受けた例も多くあります（5~8・47・48・116・121）。胴部などの文様に撚糸文を多く使うのも一つです。124・31 は、弧線文様を施す深鉢で、甲信地区の曾利式に伴う連弧文式土器でしょうか。少し変わった形の土器では、瓢のような形 3、三波状の台付鉢 2、双口土器（口が二か所にあり「U」字状に胴につながった深鉢）10 があります。



土製腕輪（表・裏、径約7cm、厚さ1.5cm、幅0.7cm）



調査区 南西部分全景（北から）



第2図 遺構概略配置図



1 台付鉢



2



3 深鉢



4 台付深鉢



5 浅鉢 (大木系)



6 深鉢 (大木系)



7 (大木系)



8 (大木・加曾利E系)



9



10-1 双口土器

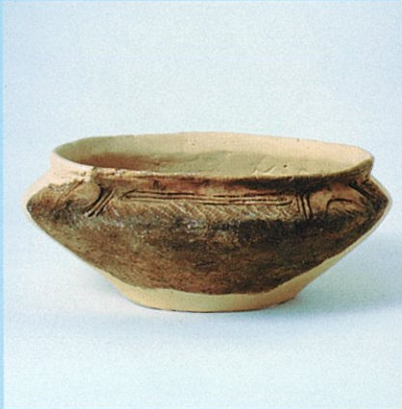


10-2



11 有孔鏝付土器

松原遺跡 第02号竖穴住居 (12~18)、第08号竖穴住居 (19~22)、第01号竖穴住居 (23)



12 浅鉢



13 鉢



14 深鉢



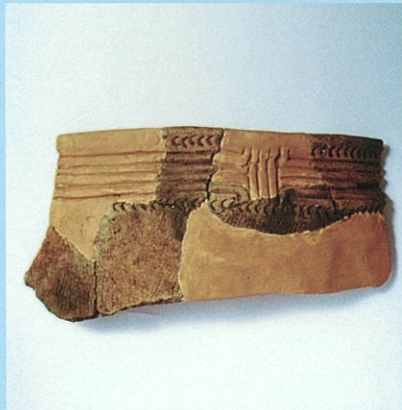
15



16



17



18



19 罎付土器



20 有孔罎付土器



21 蓋・鉢



22 深鉢



23 (新道系)

松原遺跡 第04号竖穴住居 (24~35)



24 深鉢



25



26



27



28



29 (新道系)



30 (新道系)



31



32



33



34



35



36 深鉢



37



38 (口縁部三ツ指文)



39



40 (新道系)



41



42



43 (新道系)



44



45 台付深鉢



46 深鉢



47 (大木・加曾利E系)



48 浅鉢 (大木系)



49 深鉢



50



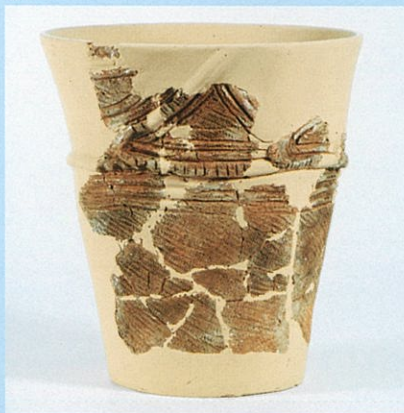
51



52



53



54



55



56



57 (新道系)



58 (三ツ指文)



59 有孔鏝付土器

松原遺跡 第04号竖穴住居 (60~71)



60 罎付土器



61 有孔罎付土器



62 (獸面付)



63



64 (獸面付)



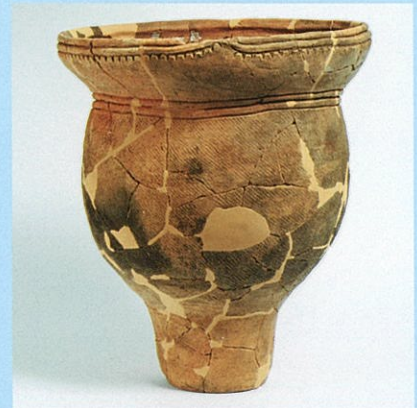
65



66



67



68 深鉢



69



70



71 浅鉢

松原遺跡 第04豎穴住居 (72~83)



72 浅鉢



73



74



75



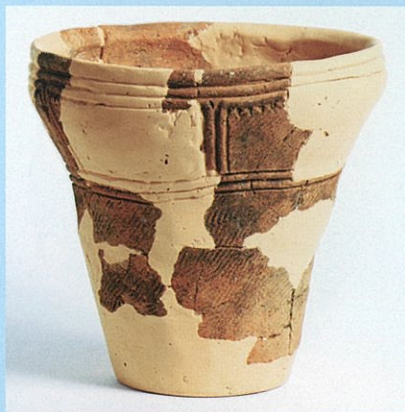
76



77



78



79 深鉢



80



81



82 (双眼意匠文)



83

松原遺跡 第10号竖穴住居 (84、85)、第04号竖穴住居 (86~95)



84 深鉢



85



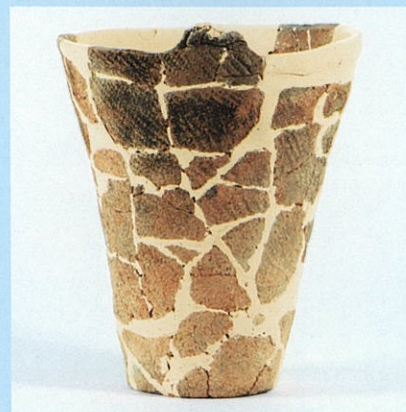
86



87



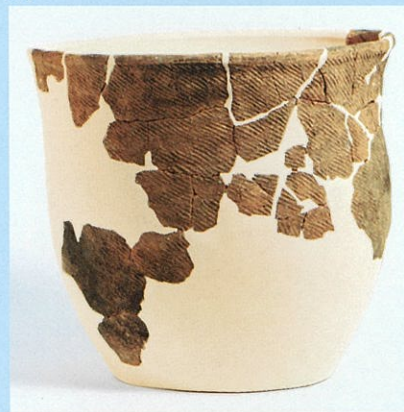
88



89



90



91



92



93



94



95

松原遺跡 第04号竪穴住居 (96、97)、第05号竪穴住居 (98~103)、第06号竪穴住居 (104~107)



96 深鉢



97



98



99



100



101



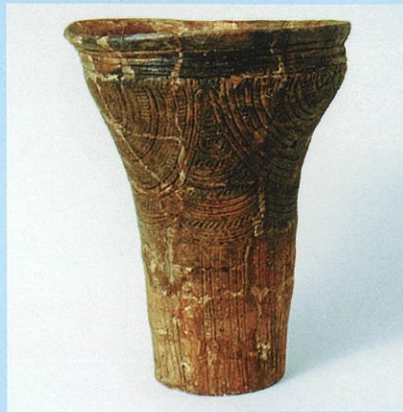
102 台付深鉢



103 深鉢 (大木・加曾利E系)



104



105



106



107 台付深鉢

松原遺跡 第06号竪穴住居(108~118)、第02号穴付近(119)



108 台付深鉢



109



110 深鉢



111 罏付土器



112 浅鉢



113



114 台付深鉢



115 深鉢



116 浅鉢(大木系)



117 台付深鉢



118 深鉢



119 (新道系)

松原遺跡 第02号穴付近 (120、121)、第02号穴 (122~131)



120 蓋・鉢



121 浅鉢 (大木系?)



122 台付深鉢



123



124 深鉢 (信州系)



125 台付深鉢



126 深鉢



127



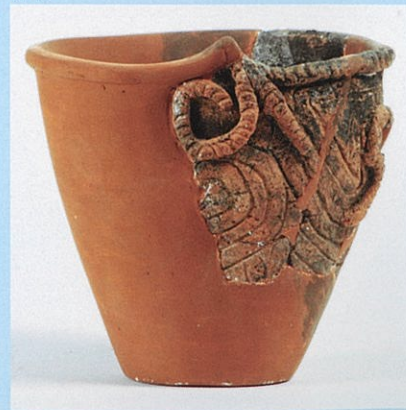
128



129



130



131



縄文時代中期中葉 台付土器



有孔鏝付土器

砺波平野の縄文時代中期のムラ

松原遺跡

発行日 平成25年（2013）2月20日

編集・発行 富山県埋蔵文化財センター

〒930-0115 富山市茶屋町206番3号

TEL 076-434-2814

FAX 076-434-2859

印刷 小間印刷株式会社